「隕石大明神」移転に当校が貢献！

「“ほこら”（令和5年度総合制作作品）」が完成し引き渡しました

島の星山は874年に隕石が落下したとされることが名の由来で、万葉歌人・柿本人麻呂が歌に詠んだことでも知られ、高角山、星高山とも呼ばれています。これまで星の島山の中腹にある冷昌寺そばに建てられた“ほこら「隕石大明神」”に隕石が保管されていましたが、“ほこら”の老朽化が進んでいることや、山頂への登山者を増やすことを目的に、地元からの要望で新しい“ほこら”を製作し山頂に移転したいとの要望をうけ、今年度の総合制作実習で取り組んだものです。

完成した“ほこら”は、令和6年3月6日に関係者とともに山頂に「隕石大明神」を移転し、その模様は新聞にも掲載されました。

ぜひ、島の
星山にお越
しください